

A panel discussion on nutraceutical approach to health and disease

脳障害編 Brain Damage Neurological Disorder

脳障害後の情動効果にバイオ・ノーマライザーが及ぼす効果についての報告



オルガマクサコヴァ医師 医学博士
(ロシア)

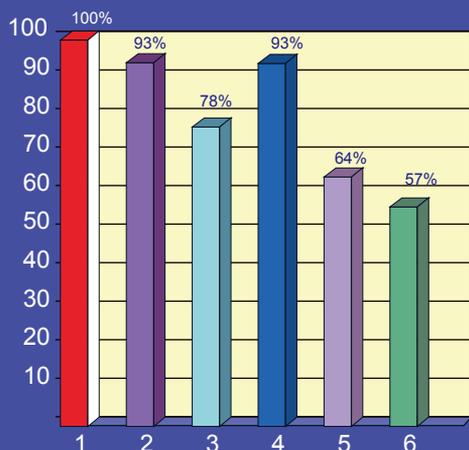
ロシア神経外科センター
リハビリテーション部 部長

重度の脳障害患者の心理 —情動および神経状態に及ぼすバイオ・ノーマライザーの効果—

私どもの患者は退院後、自宅で暮らすようになり、治療を受けたり薬を服用しなくなっても、死ぬまで、次に申し上げるような症状に苦しみます。それは、疲れやすさです。彼らは仕事につけません。1時間以上働き続けられないのです。いわゆる打ちひしがれた状態になってしまうのです。既に傷は治っていると考えられるのに、身の回りのことすらできない場合もあります。私たちは、こうしたグループの人々、つまり、退院したけれども、まだ私たちの観察下にある人々に対し、バイオ・ノーマライザーを用いてみました。

損傷の原因が生じてからの期間の長さはさまざまです。すると、かなり多くの人々にバイオ・ノーマライザーの効果があらわれました。家族も本人も、本人が話せる場合ですが、このバイオ・ノーマライザーによる治療を続けてほしいと希望しました。疲れやすさが軽減され、今までよりも多い量の負荷に耐えられるようになったのです。いろいろな症状がありますが、どれをとってもかなり改善されています。

臨床および神経心理学におけるバイオ・ノーマライザーの治療効果の評価
Clinical and Neuropsychological Evaluation of BN Treatment Effect (N=14)



- 1- good tolerability
- 2- general improvement of neurological psychological and physical status
- 3- decrease of diencephalic symptoms
- 4- Increase of self-assurance
- 5- decrease of speech disorder
- 6- increase of memory and humanity

- 1- 良い耐容性
- 2- 神経性心理的、物理的な状態の一般的な改善
- 3- 間脳症状の減少
- 4- 自己保証の増加
- 5- 音声障害の減少
- 6- 記憶力と人間性の増加

